

葉を押し葉にして、葉脈のつくりを標本として記録しよう

期間目安	2〜3日	費用目安	低
研究タイプ	工作・観察	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

ミニトマトの葉を押し葉にして乾燥させ、葉脈のつくりを標本として記録・観察します。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 葉脈のパターンに規則性があるのではないか

 **ポイント：**予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- ミニトマトの葉（数枚）
- 新聞紙
- 重し（本など）
- 台紙
- のり

4. 進め方（2〜3日プラン）

1日目	葉を新聞紙に挟んで乾燥を始める
2〜3日目	乾燥した葉を台紙に貼り、葉脈を観察・記録する

5. 記録シートの例

葉の大きさ	葉脈の様子	気づいたこと

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 乾燥には数日かかるので余裕を持つ
- 重しは均等にかける

7. まとめ方・考察のポイント

- 葉脈の役割や構造について考察する

8. レポートの構成例

1. 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
2. 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
3. 仮説：実験・調査前に立てた予想
4. 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
5. 結果：記録表、写真、グラフなど
6. 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
7. まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと
8. 参考にした資料：本やウェブサイトなど（あれば）

